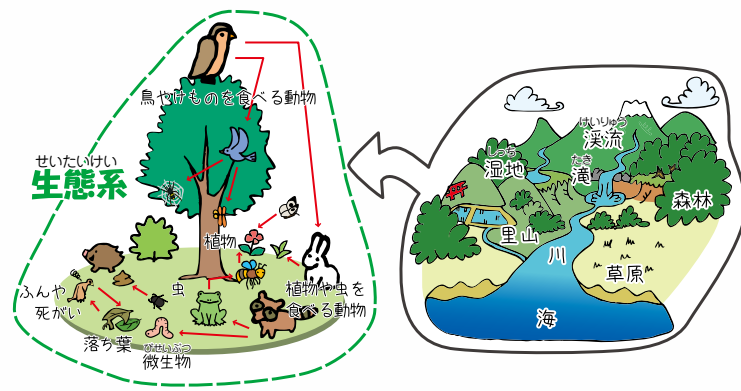
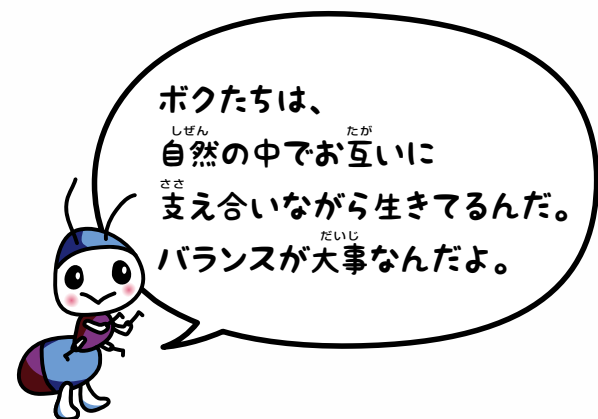


自然を守ろう

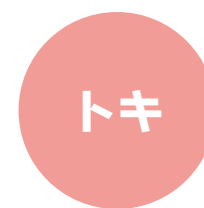
地球上には、分かっているものだけでも175万種類の生きものが生きていて、これらはお互いつながりをもって、森、里、川、海などのいろいろな場所で暮らしているんだ。いろいろな生きものがいたり、生きものが暮らす自然がたくさんあることを生物多様性と呼んでいるんだよ。



絶滅危惧種とその保護

生きものの乱獲や自然の開発、外国の生きものの持ち込みなどが原因で、多くの日本の生きものが数を減らしているんだ。

絶滅の危険が高く、もともと暮らしていた場所に住めなくなってきた生きものたちのことを“絶滅危惧種”と呼んでるんだけど、その絶滅危惧種を守るためにいろいろな取組が行われているんだよ。



明治時代からの乱獲や生息地の開発によって、日本の野生のトキは絶滅してしまったんだ。人工繁殖させたトキを野生にもどす取組を行ってきた結果、平成24年5月、放鳥したトキにヒナが誕生したんだ。野生の下でヒナが誕生したのは、昭和51年以来のことなんだよ。



写真：環境省



写真：環境省



乱獲によって、火山島である伊豆諸島の鳥島にごく少数しかいなくなってしまうんだ。平成20年から小笠原諸島の聟島に新たな繁殖地を作る取組を行ってきた結果、平成23年2月に、聟島で巣立ったヒナが再び聟島に戻ってきたんだ。



写真：(公財)山階鳥類研究所

